

学び続けられる教育相談

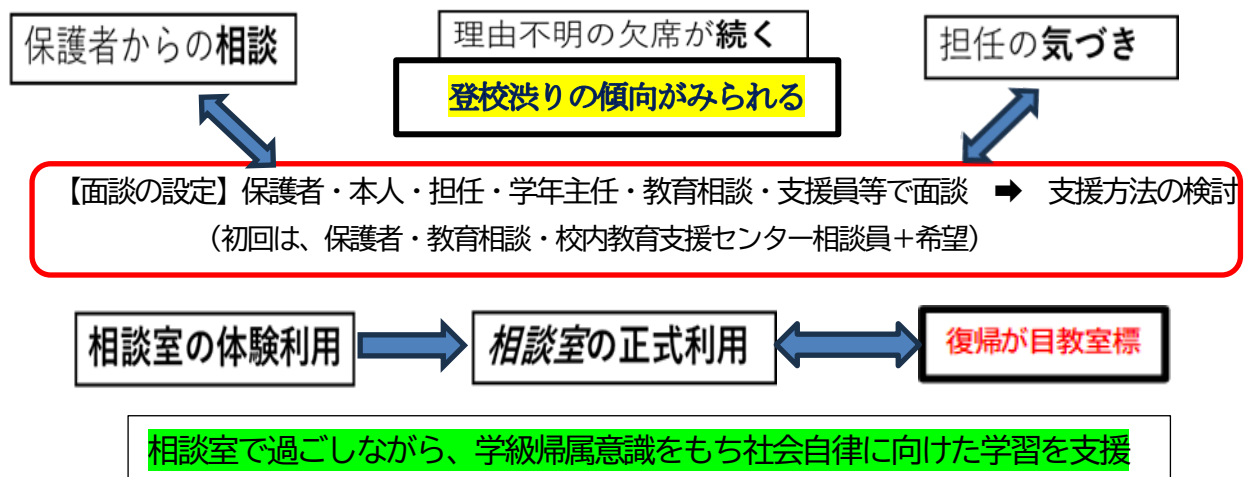
教育相談 磯田 耕司

新年度が始まり1か月が過ぎました。新しい友と新しい環境の中で学習や部活、そして体育大会に向けて生徒一人一人がもつ力を発揮しようと全力で活動しています。

ところが、急に『学校にいきたくない』と登校渋りの傾向が出始めるのもこのころです。子どもの一言に、親は不安や焦り、心配にさいなまれるかもしれません。

学校へ行けない理由を子供に聞くと、「なぜか分からないけれど行けない。」「理由は思いつくが、その問題が解決しても行けない。」といった答えが返ってることがあります。登校渋りのきっかけは、クラスになじめなかったり、勉強が分からなくなったり、人間関係が崩れたりや様々な理由が複雑にからみ合っていることが多く、特定できない場合もあります。大切なことは、保護者が焦らず、本人に寄り添い、必要な支援を考えていくことです。まずは、一人で悩まず、学校や相談機関に相談をしてください。

蘇南中学校では、下記の流れで**すべての子どもたちの社会的自立にむけて支援**を行います。



登校が難しい場合、三者面談等を通し、市教育支援センター「スマイリングルーム」の支援を受け学習環境を整えます。この他にも、可児市福祉支援課や子育て支援課、フレビア、医療機関、警察、各関係機関等の専門家と連携を図り、様々な悩みに対応できるよう努めていきます。ご家庭で抱え込まずに、お気軽にご相談ください。

登校渋りは、取り巻く環境によって、どの子にも起こり得ます。家庭との連携からスクールカウンセラーのカウンセリングの実施やスクールソーシャルワーカー等の専門家の助言から**【不登校の未然防止】【早期支援】**を図るとともに**【長期化対応】**への支援を行います。その子供に合った支援がなされても、何かが変わるまでには、時間が掛かることもあります。本人の不安の軽減を第一に考え、学校・家庭・地域の大人たちが協働し、見守っていきましょう。



教育相談スタッフ



<スクールカウンセラー (SC)> 渡邊 安沙美 先生 藤本 哲弥 先生

<心の相談員> 星野 由美子先生 山田 雅美 先生 <特別支援教育コーディネーター> 川口 芳夫 先生

<スクールソーシャルワーカー (SSW)> 一木 まゆみ 先生

<校内教育支援センター支援員> 奥村 記良 先生 <教育相談> 磯田 耕司